

第21 回ITER 職員募集説明会（パリ）でのQ & A

1. 日時・場所

平成21年3月10日（火）17：00～18：00 及び 18:00～19:00

JAEAパリ事務所

2. 出席者 計24名

3. 説明内容

①ITER 計画とITER 機構職員公募について

②ITER 機構職員公募の面接試験について

安東俊郎 ITER 協力調整グループサブリーダー

4. 説明会での主なQ&A

Q:フランス語ができることは必須条件でしょうか？

A: ITER機構における公用語は英語です。フランス語は必須ではありません。ただし、職種によっては、フランス政府当局や地元との折衝が必要となりますので、フランス語が必須条件となる場合もあります。

Q:ITER機構に採用された場合、フランスでの滞在許可証はどのようにして取得するのでしょうか？

A:「Agence ITER France (AIF)」というフランスの支援機関が、ITER機構サイトにオフィスを構えていて、ここが滞在許可証の取得手続きを行ってくれます。また、ITER機構に採用が決まりフランスへ渡航するときには、「ITERビザ」が用意されていて、AIFがビザ申請に必要なInvitation Letterを発行します。

Q:応募から採用までのスケジュールはどうなるのでしょうか？

A:一般的には、応募書類を提出後、1ヶ月くらいで面接の通知が届き、その2週間後くらいに面接試験を受けます。採用通知は4～6週間後に届きます。採用が決まってから着任までは、ご本人の事情に応じてITER機構と話し合っ決めていただくこととなりますが、通常3～4ヶ月というところです。

Q:面接はSKYPEを利用して受けるのでしょうか？

A: JAEAでやっている面接トレーニングでは、SKYPEを用いて、パソコンのテレビ電話で行います。しかし、パソコン通信によりITER機構の面接を受ける場合は、ITER機構が指定するWEBEXというシステムを用いたテレビ電話で行われます。WEBEXでは、ITER機構から送ってくるインターネットのアドレスとパスワードを入力してWEBEXを立ち上げます。

Q:ITER機構の給与の通貨は何でしょうか？ また、税金はどうなるのでしょうか？

A:給与は ユーロで支払われます。また、ITER機構では、給与に対して所得税はか

かりませんが、内部税が課せられます。

Q:応募書類は直接ITER機構へ送ることもできるのでしょうか？

A:ITERでは、各参加極の窓口を通して、応募書類を提出することになっています。ITER機構に直接送っても、書類は受け付けられませんので、ご注意ください。

Q:一般事務職を希望する場合、核融合に関する知識はどの程度必要でしょうか？

A:一般事務職の場合は、核融合に関する専門知識は必要なく、一般常識程度の核融合の知識で十分かと思います。ITER機構の公式ウェブサイトやJAEA那珂研のウェブサイトには、一般向けに核融合やITERに関する解説がありますので、これらを参考にいただければと思います。

Q:ITERは核融合実験炉ですが、ITERの後には実証炉を建設するのでしょうか？

A:核融合炉の研究開発は、科学的実証から工学的実証を経て発電実証へと段階的に進められます。ITERは、工学的実証段階にあり、大規模な核融合エネルギーを長時間発生させるのが大きな目的です。ITERの次の段階では、プラント規模で発電を実証する原型炉が建設されます。その後、核融合炉の開発は実用化段階へ移行します。人類が核融合炉の開発に成功すれば、今世紀半ば以降の地球温暖化防止に貢献することができると思われます。

Q:現在のような経済不況の影響はあるのでしょうか？

A:ITER計画は、7極の政府の間で取り交わされたITER協定に基づいて実施する国際プロジェクトで、各参加極政府の予算で運営されていますので、基本的には経済状況の影響は受けません。むしろ、不況により人材や生産設備の余剰が生じれば、ITERの建設に必要な人材の供給や生産設備の利用の面から有利にはたらくものと思われます。

以上